

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
1 共生社会の実現に向けた理解と交流の促進	
①心のバリアフリーの推進	
<p>●京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例の周知・啓発活動</p> <p>①振興局や市町村窓口でのパンフレットの配付</p> <p>②各種広報媒体を用いた広報 ・府民だより、リビング京都、京都の労働、京都新聞憲法週間特集、KB Sラジオ、KBSテレビ等</p> <p>③府内研修会等での条例の周知</p> <p>④相談事例等の公表</p>	障害者支援課
<p>●「障害者週間」(12/3～9)における啓発活動</p> <p>概要:障害者週間を中心として、府内各市町村で啓発チラシ、「ほっとはあと製品」の配布など街頭啓発活動を実施</p>	障害者支援課
<p>●「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文コンクールの実施</p> <p>概要:障害者福祉の啓発ポスター及び体験作文を募集し、啓発ポスターとして使用するとともに、入賞作品を「京都とっておきの芸術祭」等で展示</p> <p>実績:応募作品数</p> <p>・ポスターの部 H27:66、H28:55、H29:53、H30:42、R1:38</p> <p>・体験作文の部 H27:76、H28:62、H29:61、H30:68、R1:114</p>	障害者支援課
<p>●京都府障害者のつどいの開催</p> <p>概要:府内の障害者や関係者が集い、広く障害に関する理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加意欲を増進し、障害者福祉の増進を図る</p> <p>実績:H27年度:11/22に八幡市で開催 H28年度:11/27に京丹後市で開催 H29年度:11/26に長岡京市で開催 H30年度:11/25に舞鶴市で開催 R1年度:11/23に宇治市で開催</p>	障害者支援課
<p>●「こころの健康推進員」の設置</p> <p>概要:精神障害者の地域生活を支援し、精神障害者の自立と社会参加の促進を図るため、「こころの健康推進員」を設置</p> <p>実績:H27 103名登録 推進員養成講座、現任者研修会を実施 H28 104名登録 現任者研修会を実施 H29 113名登録 推進員養成講座、現任者研修会を実施 H30 108名登録 現任者研修会を実施 R1 102名登録 推進員養成講座、現任者研修会を実施</p>	障害者支援課
<p>●認知症サポーター養成(H18～) 計288,843名養成</p> <p>認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、H18は府、H19からは市町村が養成。</p>	高齢者支援課

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●キャラバンメイト養成(H18～) 計5,330名養成 認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」の講師役として、「キャラバンメイト」を養成。全国キャラバンメイト連絡協議会に登録。養成講座は府・市町村などが開催</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>②社会的障壁を除去する取組の推進</p>	
<p>●京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例の周知・啓発活動 <再掲 1-①参照></p>	<p>障害者支援課</p>
<p>③権利擁護の推進</p>	
<p>●京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター運営事業(H24～) 概要:市町村では対応困難な虐待案件に対する専門職チームの派遣、事例検討を通じた人材育成の取組等、虐待事案の通報窓口となる市町村の権利擁護の取組を支援 実績:H26 相談 239件、専門職チーム派遣 23件 H27 相談 305件、専門職チーム派遣 33件 H28 相談 343件、専門職チーム派遣 25件 H29 相談 363件、専門職チーム派遣 27件 H30 相談 370件、専門職チーム派遣 29件 R1 相談 410件、専門職チーム派遣 18件</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●障害者虐待防止・権利擁護研修(H23～) 概要:障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応等を行うため、障害福祉サービス事業所・指定相談支援事業所職員、市町村職員を対象とした研修を実施 実績:研修受講者 H26 260人、H27 307人、H28 367人、H29 304人、H30 339人、R1 348人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●概要:京都府社会福祉協議会に「きょうと高齢者・障害者生活支援センター」を設置し相談、助言、連絡調整、手続き代行等を実施 実績:契約累計件数 2,390件(R1年度末)</p>	<p>地域福祉推進課</p>
<p>④交流及び共同学習の推進</p>	
<p>●特別支援学校文化・スポーツ交流事業(文化H2～、スポーツH5～) 概要:各府立特別支援学校の幼児・児童・生徒が、豊かな心をはぐくみ、社会性や協調性等社会自立の基礎を培うように優れた文化やスポーツを通じた交流会を実施 実績:(1)文化芸術鑑賞:音楽又は演劇等の鑑賞 主な内容:京都フィルハーモニー室内合奏団、ミュージカル等 (2)文化芸術発表:学校が取り組む演劇等の発表 主な内容:和太鼓発表等 (3)高等部スポーツ交流会:毎年約250名の生徒が参加、高校生ボランティアが運営に協力 ボランティア参加高校生 H27 46名、H28 26名、H29 26名、H30 24名、R1 39名</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>●特別支援学校ボランティア活動推進事業(H4～H29) 概要:府立特別支援学校において、障害のある子どもたちの地域生活を支援するボランティアの養成や児童生徒のボランティア活動 実績:ボランティア養成講座 H26 延べ45回、H27 延べ42回、H28 延べ29回、H29 延べ27回</p>	<p>特別支援教育課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●森と小川の教室推進事業(H4～) 概要:多様な立場を理解し、心のふれあいを深め、支援する心や自尊心、主体性を培うため、豊かな自然の中で、障害のある子どもも一緒に なった自然体験活動を実施 実績:参加児童生徒数 H27 65人、H28 68人、H29 68人、 H30 30人、R1 50人</p>	<p>社会教育課</p>
<p>●ふれあい・心のステーション(H8～) 概要:府立特別支援学校高等部生徒自らが制作品の販売実習・実演を実施 実績:入場者数 H27 約5,000人、H28 約5,000人、H29 約7,000人、 H30 約4,000人、R1 約7,000人</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>●京都ほっとはあとセンターへの支援 概要:府内の就労継続支援事業所等の組織化を図り、ほっとはあと製品の普及、販売促進等に関する事業を推進 実績:R1末 加入施設198 ○アンテナショップ:三条店、ぶらり嵐山 ○喫茶店の運営:西京同窓会館、府庁福利厚生センター、 ハートピア京都、ひとまち交流館</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>2 教育の推進</p>	
<p>①インクルーシブ教育システムの構築</p>	
<p>●特別支援教育サポート拠点事業(H23～) 概要:発達障害を含む障害のある子どもへの就学前から高校卒業後までの一貫した支援を行うため、京都府スーパーサポートセンターを設置し、関係機関と連携を図り、子ども・保護者・教員・地域を支援 実績:教員への体験型専門研修等の実施 H27 12講座683名 H28 13講座1,161名 H29 11講座573名 H30 9講座752名 R1 4講座581名 スーパーサポートチーム等を活用した相談支援 H27 1,027件 H28 1,064件 H29 883件 H30 851件 R1 654件</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>●地域等連携推進事業(H15～) 概要:医療、福祉、労働、教育等が一体となって、障害のある子ども及びその保護者等に対する一貫した相談・支援体制を整備 実績:11校(全校)</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>●地域支援センターの設置及び地域支援コーディネーターの配置(H19～) 概要:地域の学校等の障害のある子どもへの教育相談等を行うための各府立特別支援学校への地域支援センターの設置及び地域支援コーディネーターの配置 実績:相談件数 H27 延べ6,195件、H28 延べ5,800件、H29 延べ5,425件、 H30 延べ5,290件、R1 延べ5,119件</p>	<p>特別支援教育課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●私学運営費補助金(心身障害児加算分)[私立幼稚園分] 概要:心身障害児の在籍する京都府内の学校法人立幼稚園等の人件費、教育研究経費支出等に対する補助。 (私立幼稚園心身障害児教育費補助金の対象となった園児に係る分を除く。) 実績:H26 25園 24人 5,075千円 H27 18園 20人 3,560千円 H28 17園 20人 3,600千円 H29 19園 20人 3,640千円 H30 16園 19人 3,496千円 R1 19園 22人 4,114千円</p>	<p>文教課</p>
<p>●私立幼稚園心身障害児教育費補助金 概要:心身障害児が2人以上在園している学校法人立幼稚園等の人件費、教育研究経費支出等に対する補助。 実績:H26 102園 597人 468,048千円 H27 107園 639人 500,976千円 H28 114園 689人 540,176千円 H29 109園 687人 538,608千円 H30 108園 679人 532,336千円 R1 110園 686人 512,631千円</p>	<p>文教課</p>
<p>●私学運営費補助金(心身障害生徒割)[私立高等学校分] 概要:心身障害生徒の在籍する京都府内の私立高等学校の人件費、教育研究経費支出等に対する補助 実績:H26 11校 35人 16,900千円 H27 12校 36人 16,900千円 H28 14校 48人 16,900千円 H29 14校 48人 16,900千円 H30 15校 64人 16,900千円 R1 14校 58人 16,900千円</p>	<p>文教課</p>
<p>●特別支援学校高等部職業教育充実費(H6～) 概要:府立特別支援学校高等部生徒の卒業後の職業的な自立を図るため、職業教育設備を整備 実績:H27 超音波双方向血流計、ビジネスカウンター、細霧発生送風機 H28 電動糸鋸機、乾式小型粉砕機、ロックミシン H29 変速バンドソー、お年寄り介護モデル、脱気シーラー H30 座骨神経刺鍼トレーナー、ハンマーナイフモア、土練機 R1 陶芸用電気窯、電動ろくろ、大型攪拌機</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>②教育環境の整備</p>	
<p>●福祉・医療との一層の連携の推進 概要:府立舞鶴子ども療育センターの移転・新築に合わせて、府立舞鶴支援学校北吸分校を同行永分枝に移転・統合し、教育と福祉・医療との一層の連携を推進 実績:H24・25 新築校舎 基本・実施設計 H26 新築校舎 建設工事着工、既存校舎 基本・実施設計 H27 新築校舎 建設工事、既存校舎 改修工事 H28 新校舎供用開始</p>	<p>管理課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●特別支援学校の新設整備 概要:山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対応するとともに、「障害の有無に関わらず、様々な子ども達が同じ空間で学び地域とともに育つ」学校を目指して、井手町に特別支援学校を新設整備 実績:H27 地質調査・造成設計 H28 校舎基本設計、埋蔵文化財調査、用地取得完了、造成事前工事 H29 造成工事、校舎実施設計 H30 造成工事、校舎実施設計 R1 校舎建設工事着工</p>	<p>管理課 特別支援教育課</p>
<p>●特別支援教育総合推進事業(特別支援教育の体制整備の推進)(H20～) 概要:発達障害を含む全ての障害のある児童生徒の学校における支援体制整備に加え、地域における支援体制の構築や理解啓発など、総合的な支援を推進 実績:小中学校における校内委員会の整備率 H25以降 100%</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>●特別支援教育充実事業 概要:発達障害等により、特に支援を必要とする児童生徒が在籍する学校において、支援体制の充実を図るため非常勤講師を配置 実績:配置人数H27 139人、H28 129人、H29 71人、 H30 71人、R1 71人 ※H29以降の人数は、権限委譲に伴い、京都市分を除いた数</p>	<p>教職員人事課 特別支援教育課</p>
<p>●特別支援教育総合推進事業(H27～) 概要:聴覚に障害のある生徒に対して学習補助システムを活用した授業を実施 実績:H27 3校、H28 3校、H29 4校、H30 2校、R1 2校</p>	<p>高校教育課</p>
<p>●府立高校特別支援教育支援員配置事業(H25～) 概要:発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校特別支援教育支援員を配置 実績:H27 4名、H28 4名、H29 4名、H30 4名、R1 4名</p>	<p>教職員人事課</p>
<p>●特別支援学校医療的ケア体制充実事業(H15～) 概要:障害の重度・重複化、多様化に伴い、医療的ケアを安全に実施する体制を確保するとともに、快適かつ、安全な学校生活の充実に向けて一人ひとりのニーズに合わせたきめ細やかな教育を推進 実績:派遣回数 H27 延べ158回、H28 延べ156回、H29 延べ110回、 H30 延べ99回、R1 延べ86回</p>	<p>特別支援教育課</p>
<p>●聴覚障害者社会教育指導者研修会(S54～) 概要:聴覚障害者の豊かな生活に向けての学習活動や社会参加の促進を図るため、研修会を実施 実績:南部・北部2会場で開催 延べ参加者数 H27 131人、H28 126人、H29 80人、 H30 103人、R1 81人</p>	<p>社会教育課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)		担当課室等
<p>●視覚障害者社会教育指導者研修会(H元～) 概要:視覚障害者の心豊かな生活に向けての学習活動や社会参加の促進を図るため、研修会を実施 実績:各教育局(5局)で開催 延参加者数 H27 298人、H28 535人、H29 401人、 H30 259人、R1 292人</p>		社会教育課
<p>●スクールバスの整備 概要:障害の重度・重複化、多様化に対応した低床型スクールバスの整備 実績:H27 2台、H28 なし、H29 1台、H30 2台、R1 2台</p>		特別支援教育課
3 生活の支援		
①相談支援体制の整備		
<p>●障害者相談支援ネットワーク事業(H17～) 概要:障害保健福祉圏域毎に「総合相談支援センター」を指定し、ゼネラルケアマネジャーを配置(7名)し、関係機関の相談支援ネットワークを構築し、連携会議や研修等を実施 実績:すべての障害保健福祉圏域に指定・配置</p>		障害者支援課
<p>●圏域障害者自立支援協議会の設置(H19～) 概要:障害福祉計画の推進及び広域的なサービス調整等を行う協議の場として、障害保健福祉圏域毎に障害者自立支援協議会を設置 実績:すべての障害保健福祉圏域に設置</p>		障害者支援課
<p>●「こころの健康推進員」の設置 <再掲 1-①参照></p>		障害者支援課
<p>●発達障害者支援センター運営事業(H19～) 概要:府全域の発達障害者支援の中核として、発達障害者支援センター「はばたき」を設置 障害保健福祉圏域毎に、同センターの支所として、圏域支援センターを設置し、ネットワークの整備を実施 学齢期を中心とした発達障害児及びその保護者等に対し、教育関係ほか福祉、医療等と連携した相談支援を行うため、発達障害者支援センターこども相談室(府南部地域対象)を設置(H30～) 実績:相談件数 H27 7,258件、H28 6,333件、H29 5,214件、 H30 4,774件、R1 5,166件</p>		障害者支援課
<p>●高次脳機能障害者支援事業(H19～) 概要:京都府リハビリテーション支援センターに支援コーディネーターを配置し、高次脳機能障害者に関する相談・研修等を実施 実績:支援コーディネーターの設置 H26 相談件数 1,819件 研修受講者 607人 H27 相談件数 1,176件 研修受講者 681人 H28 相談件数 1,104件 研修受講者 512人 H29 相談件数 716件 研修受講者 613人 H30 相談件数 832件 研修受講者 675人 R1 相談件数 1,260件 研修受講者 695人</p>		障害者支援課

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●難病患者在宅支援体制の充実 概要: 難病患者の安定した療養生活の確保と患者及びその家族の生活の質の向上の為、全保健所において、医師・保健師・理学療法士等による各種相談事業や講演会・交流会、研修会等を開催 実績: 国1/2、府1/2(講演会・交流会は府単費) ・医師等による専門相談 H27 33回139人、H28 29回108人、H29 27回 84人、H30 17回 80人、R1 13回 55人 ・保健師による訪問相談 H27 851件、H28 889件、H29 1,009件、H30 796件、R1 792件 ・講演会・交流会 H27 23回264人、H28 27回361人、H29 31回488人、H30 31回461人、R1 35回569人</p>	健康対策課
<p>●認知症に関する多様な相談窓口の設置(H25～) 概要: 電話相談や介護保険事業での相談の実施により、早期発見・早期対応につなげる。</p>	高齢者支援課
<p>●家庭支援総合センターの設置(H22～) 児童虐待やDV、障害、非行、ひきこもりなど、複雑・多様化する家庭問題に迅速・的確に対応するため、家庭支援総合センターを中心に関係機関の連携・協力のもと、家庭問題に対する総合的・専門的な相談支援を実施 ○総合相談機能 総合相談窓口の設置により、幅広い家庭問題へワンストップでの対応と専門的なサポートを実施 R1相談実績: 約13,500件</p>	家庭支援課
<p>●脱ひきこもり支援センター事業(H29～) 概要: 家庭支援総合センター内「脱ひきこもり支援センター」において、来所・電話相談、家族教室等を実施 実績: 相談件数 H29 電話 461件 来所面接 867件 訪問支援 209件 H30 電話 353件 来所面接 903件 訪問支援 552件 R1 電話 502件 来所面接 1,043件 訪問支援 651件</p>	家庭支援課 障害者支援課
②在宅サービス等の充実	
<p>●福祉有償運送支援事業費(H22～) ・通院等の外出に支援を要する高齢者や障害者の移動手段を確保するための福祉有償運送事業者の車両購入に対する助成 実績: H27 10台(10法人)、H28 7台(7法人)、H29 7台(7法人)、H30 7台(7法人)、R1 6台(6法人) ・福祉有償運送事業に従事する運転協力者を養成するための講習の実施 実績: H27 7回 129人参加 H28 7回 113人参加、H29 7回 117人参加、H30 7回 126人参加 R1 5回 67人参加</p>	高齢者支援課
<p>●障害者施設整備事業 概要: 施設の創設及び大規模修繕に対する助成(H22～大規模修繕) 実績: H27 創設 8箇所、改築 1箇所、大規模修繕 1箇所 H28 創設 4箇所、改築 1箇所、大規模修繕 1箇所 H29 創設 3箇所、大規模修繕 1箇所 H30 創設1箇所、大規模修繕1箇所 R1 創設3箇所、改築1箇所、増築1箇所、大規模修繕6箇所</p>	障害者支援課

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●重症心身障害児(者)ショートステイ受入体制整備(H26～29) 概要:府北部地域で医療型短期入所の受入体制を整備するため、障害特性に配慮してショートステイの利用者を受け入れる北部医療センターに対し市町村を通じて助成 実績:H26 1市、H27 2市1町、H28 3市1町、H29 2市1町</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●医療的ケア児等福祉サービス導入促進事業(H30～) 概要:医療的ケア児等が在宅生活を継続するために必要な医療型短期入所の拡大に必要な経費及ケアプラン作成等を行った場合の経費に対し市町村を通じて助成 実績:H30 14市町村、R1 20市町村</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●障害者施設整備事業 <再掲 3-②参照></p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●日中一時支援事業(H18～) 概要:日中、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設、学校の空き教室等において、障害児(者)に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。 実施主体:市町村(全市町村で実施)</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●重症心身障害児(者)ショートステイ受入体制整備(H26～29) <再掲 3-②></p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●重度障害児(者)在宅生活支援事業(H22～29) 概要:看護師等の配置等により、医療的ケアの必要な重度障害者等の受入を推進する生活介護事業所等に対し市町村を通じて助成 実績:H24 14市町村 17事業所、H25 13市町村 18事業所、 H26 13市町村 20事業所、H27 13市町村 18事業所、 H28 13市町村 18事業所、H29 13市町村 20事業所</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●医療的ケア児等コーディネーター養成等研修の実施(H30～) 概要:保健、医療、福祉、教育等医療的ケア児等の関連分野を適切に調整できるコーディネーター養成等の研修を実施 実績:H30 172人、R1 102人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●盲ろう者通訳介助員派遣 概要:盲ろう者の自立と社会参加を図るため、コミュニケーション及び移動等の支援を行う通訳・介助員を派遣。 実績:派遣実績 H27年度 1,707件 9,190時間 H28年度 2,238件 10,369時間 H29年度 2,322件 10,120時間 H30年度 1,872件 7,801時間 R1年度 1,880件 7,267時間</p>	<p>障害者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●精神障害者アウトリーチ推進事業(H27～29)</p> <p>概要:在宅精神障害者のうち受療中断など適切な支援を受けられていない者等及び精神科病院への長期入院者等に対し、一定期間、医療、保健及び福祉、生活の包括的なアウトリーチによる支援を実施し、円滑な地域移行と安定した地域定着、一般就労への移行等を図る。</p> <p>実績: (医療圏) (H28) (H29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中丹医療圏(もみじヶ丘病院) 5人 6人 ・京都乙訓医療圏(長岡病院) 6人 3人 ・山城北医療圏(宇治おうばく病院) 11人 16人 <p>※いずれも支援対象者数。他に導入相談等を実施</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●長期入院患者等退院後支援事業(H30～)</p> <p>概要:在宅精神障害者のうち未治療、受療中断している等適切な支援が受けられていない者及び精神科病院における長期入院者等に対し、一般相談支援事業所が精神科病院や保健所等と協力し、医療・保健・福祉等の包括的な支援を多職種、他機関との訪問により実施し、適切なサービスにつなげるほか、長期入院者等の地域移行促進、地域定着及び長期入院の予防を図る。</p> <p>実績: R1 10名</p> <p>※いずれも支援対象者数。他に導入相談等を実施</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●精神科救急医療システム</p> <p>概要:府南部・北部に精神科救急情報センター及び基幹病院等を設置し、休日夜間における精神科救急医療体制を確保</p> <p>実績:北部救急情報センター相談件数 H26 83件、H27 105件、H28 152件、 H29 128件、H30 109件、R1 157件 南部救急情報センター相談件数 H26 2,597件、H27 3,145件、H28 3,090件、 H29 3,186件 H30 2,890件、R1 3,005件</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●精神科救急医療連携強化事業(H25～)</p> <p>概要:一般救急病院と精神科病院が連携し、精神疾患患者で身体合併症を併発する患者に医療を提供する仕組みを構築</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●高次脳機能障害専門外来の設置</p> <p>概要:高次脳機能障害専門の診療機能の充実・強化のため、府立心身障害者福祉センター附属病院に専門外来を開始、医師を配置(平成25年度から)</p> <p>実績:専門医師による外来診察を週3日実施 患者数推移 H27末 71人、H28末 90人、H29末 121人、 H30末 136人、R1末 139人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●高次脳機能障害に特化した生活訓練の実施</p> <p>概要:府立心身障害者福祉センターにおいて、高次脳機能障害の障害特性を踏まえた日常生活能力の向上、復職・就職に向けての訓練を行う生活訓練事業を開始(平成26年度から)</p> <p>訓練は、上記専門外来と連携して行い、医療から福祉、社会参加までの途切れのない支援を推進</p> <p>実績:利用者数推移 H27末 19人、H28末 23人、H29末 29人、 H30末 31人、R1末 37人</p>	<p>障害者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
●児童扶養手当の支給 母子家庭に対する扶助(町村域認定数:約1,000世帯)	家庭支援課
●特別児童扶養手当の支給 障害児がおられる家庭への扶助(京都市を除く府域認定数:約3,200世帯)	家庭支援課
●特別障害者手当の支給 20才以上の在宅重度障害者に対する扶助(府域認定数:約3,800人)	障害者支援課
●障害児福祉手当の支給 在宅重度障害児に対する扶助(府域認定数:約1,600人)	障害者支援課
●在日外国人無年金者緊急支援事業費 (H16～) 概要:国民年金制度改正時に制度の対象とならなかった在日外国人無年金者(障害者)に対して給付金を支給 実績:支給者数H26 49人、H27 40人、H28 39人、H29 38人、H30 36人、R1 31人	障害者支援課
●ヘルプマーク事業 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのマーク(ヘルプマーク)を導入(H28～)。H28～R1年度配布数 38,536個	障害者支援課
●難病患者等居宅生活支援事業 概要:難病患者等に対して、ホームヘルプサービス事業、短期入所事業、日常用具給付事業を行う市町村を支援 ※平成25年度からは障害福祉サービスの対象に移行	障害者支援課
③障害児支援の充実	
●発達障害診療体制拡充整備事業(H25～) ・こども発達センターに診療室を増設し、小児科専攻医を研修のために受け入れ初診待ちの短縮を図るとともに発達障害者を診療できる小児科医を養成 ・受入小児科医 2名(各週1日勤務)	障害者支援課
●舞鶴こども療育センター事業 舞鶴医療センターとの連携を強化し小児医療充実を図るため、舞鶴こども療育センターを舞鶴医療センター隣接地に移転、北部の障害児療育拠点として体制整備を図る。(H28.4に移転)	障害者支援課
●発達障害者支援体制整備事業 概要:発達障害児等の早期発見・早期療育を推進するため、5歳児を対象にした事後支援を行う市町村に対して助成 実績:H26 25市町村、H27 24市町村、H28 24市町村、H29 24市町村、H30 23市町村、R1 23市町村	障害者支援課

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●乳幼児健康管理従事者育成事業(H29～)</p> <p>概要: 就学前までの子どもの発育・発達の支援に関わる従事者を対象に保健所が地域の特性に応じ、子どもの発育・発達の支援に関わる研修会等を企画し、実施する。</p> <p>実績: H29 10回開催 参加者実人数195人、延べ217人 H30 17回開催 参加者実人数287人、延べ351人 R1 8回開催 参加者実人数226人、延べ226人 (コロナ感染拡大のため1回中止)</p>	<p>こども・青少年 総合対策室</p>
<p>●南部難聴幼児サポートセンター事業(H21～)</p> <p>概要: 学齢期前の聴覚障害児に聴覚・ことばの指導等を行い、言語能力・コミュニケーション能力を高めるとともに、孤立しがちな保護者に対する相談支援等を実施</p> <p>実績: H26 相談件数 47件 H27 相談件数 47件 H28 相談件数 47件 H29 相談件数 42件 H30 相談件数 37件 R1 相談件数 41件</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●重症心身障害児(者)通園事業</p> <p>概要: 在宅の重症心身障害児(者)に対し、日常生活動作、運動機能に関する訓練、指導等必要な療育を行う(※H24から障害福祉サービスの対象に移行)</p> <p>実績: H21 4箇所、H22 4箇所、H23 4箇所</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●心身障害児(者)地域療育等支援事業</p> <p>在宅の心身障害児(者)の地域生活を支えるため、身近な地域での療育に関する相談・指導・健康診査等を実施</p> <p>実績: H27年度 訪問療育8,871件、外来療育1,075件、施設支援532件 H28年度 訪問療育8,424件、外来療育1,080件、施設支援600件 H29年度 訪問療育5,162件、外来療育 969件、施設支援644件 H30年度 訪問療育3,739件、外来療育 713件、施設支援383件 R1 年度 訪問療育 352件、施設支援306件</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●軽・中等度難聴児支援事業(H27～)</p> <p>概要: 身体障害者手帳の交付対象外の軽・中等度の難聴児に対する補聴器給付</p> <p>実績(交付申請市町村数): H27 18市町村、H28 18市町村、 H29 17市町村、H30 17市町村 R1 16市町村</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>④サービスの質の向上等</p>	
<p>●相談支援事業従事者研修</p> <p>概要: 障害者等からの相談に応じ、必要な保健、医療、福祉等などのサービスの利用・支援を行う事業の従事者に対する研修</p> <p>実績: H27 初任者研修 1回 304人 現任研修 1回 109人 H28 初任者研修 1回 275人 現任研修 1回 149人 H29 初任者研修 1回 255人 現任研修 1回 167人 H30 初任者研修 1回 267人 現任研修 1回 236人 R1 初任者研修 1回 248人 現任研修 1回 236人</p>	<p>障害者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●強度行動障害支援者養成研修(H27～) 概要:強度行動障害のある人に障害特性の理解に基づく適切な支援を行う職員の人材育成を目的とする研修 実績:H28 基礎425人、実践369人 H29 基礎 369人、実践 351人 H30 基礎392人、実践202人 R1 基礎384人、実践 226人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●福祉サービス苦情解決事業(H12～) 概要:京都府社会福祉協議会に運営適正化委員会を設置し苦情受付、調査、指導、助言、あっせん等を実施 実績:H27 苦情 185件、問い合わせ 142件 H28 苦情 105件、問い合わせ 253件 H29 苦情 97件、問い合わせ 365件 H30 苦情 91件、問い合わせ 210件 R1 苦情 108件、問い合わせ 211件</p>	<p>地域福祉推進課</p>
<p>●介護・福祉サービス第三者評価等推進事業(⑭～) 概要:利用者が安心して介護・福祉サービスを選択できる環境づくりに資するため、「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」が実施する第三者評価事業等に対する支援 実績:第三者評価受診件数 H27 268件(介護関係199件、福祉関係69件) H28 307件(介護関係212件、福祉関係95件) H29 243件(介護関係176件、福祉関係67件) H30 244件(介護関係160件、福祉関係84件)</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>⑤人材の育成・確保</p>	
<p>●相談支援事業従事者研修 <再掲 3-④></p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●強度行動障害支援者養成研修(H27～) <再掲 3-④></p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●点訳奉仕員・朗読奉仕員等の養成 実績:R1年度末登録者数(H27) 点訳奉仕員 249人(233)、朗読奉仕員 314人(238)、 手話通訳者 566人(555)、要約筆記者 507人(489)、 盲ろう者向け通訳・介助員 373人(358)</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●同行援護従業者養成事業(旧ガイドヘルパー養成事業 H20～) 概要:視覚障害者の同行援護従業者の養成研修の実施 実績:H26 7回 256人、H27 6回 155人、H28 7回 146人、 H29 7回 195人、H30 6回 142人、R1 5回 88人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●「こころの健康推進員」の設置 <再掲 1-①参照></p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●かかりつけ医認知症対応力向上研修(H18～) 計2,137名参加 かかりつけ医が適切な認知症診断の知識・技術、家族への対応を習得し、各地域において、医療と介護が一体となった認知症の支援体制の構築を図るための研修を実施。</p>	<p>高齢者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●認知症サポート医養成(H18～) 計191名養成 認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役。国立長寿医療センターが実施する「認知症サポート医養成研修」に府が派遣。</p>	高年齢者支援課
<p>●病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修(H25～) 概要: 病院の看護師等医療従事者を対象に、認知症の基礎知識や認知症ケアの原則等の研修を実施 実績: 計6,028名参加</p>	高年齢者支援課
<p>●認知症介護実践者等養成研修(H12～) 計10,729名参加 認知症患者の介護を実践する施設・居宅サービス事業所の実務者及び指導者等を対象として、実践者研修・実践リーダー研修等を実施</p>	高年齢者支援課
⑥福祉用具の研究開発及び身体障害者補助犬の育成等	
<p>●身体障害者補助犬の育成・訓練 概要: 身体障害者補助犬の育成及び訓練等を行う法人に対する助成を実施 実績: 府内補助犬の状況 H27 盲導犬18頭 介助犬5頭 聴導犬3頭 計26頭 H28 盲導犬19頭 介助犬5頭 聴導犬3頭 計27頭 H29 盲導犬14頭 介助犬5頭 聴導犬3頭 計22頭 H30 盲導犬13頭 介助犬4頭 聴導犬3頭 計20頭 R1 盲導犬10頭 介助犬3頭 聴導犬3頭 計16頭 (R2.4.1現在)</p>	障害者支援課
<p>●補装具・日常生活用具の給付等 概要: 障害者の日常生活や社会生活の向上を図り社会参加を支援するため、補装具費の支給や日常生活用具の給付・貸付を行う市町村を支援</p>	障害者支援課
4 保健・医療の充実	
①保健・医療の充実等	
<p>●リハビリテーション支援センターの設置・運営 ○リハビリテーション支援センター H17設置 ○H22 総合リハビリテーション推進プランを策定し、府民が住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らせるよう、急性期から回復期、維持・生活期まで継続した総合リハビリテーション提供体制を実現するため、人材の確保・育成、施設の拡充、連携体制の構築などの施策を実施</p>	リハビリテーション支援センター

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●連携体制の構築</p> <p>○H23 京都市内において地域リハビリテーション支援センターを整備し、府内全圏域及び京都市内で8箇所の地域リハビリテーション支援センターを指定</p> <p>○地域リハビリテーションコーディネート事業 概要：地域リハビリテーション支援センターに地域のリハビリテーションサービス資源等に精通したコーディネーターを配置し、地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスの助言相談、リハビリテーション従事者への訪問指導、リハビリテーションサービス窓口担当者との事例検討会の開催等を実施 実績：リハビリテーションサービスの助言相談件数 355件 リハビリテーション従事者への訪問指導回数 369回 事例検討会参加者数 1,026人</p> <p>○急性期から回復期、維持・生活期まで継続した総合リハビリテーションサービスを提供するため、府内全域でITを活用した地域連携パスによる連携の推進(R元 脳卒中地域連携パス参加病院 75施設)</p>	<p>リハビリテーション支援センター</p>
<p>●施設の拡充</p> <p>○訪問リハビリテーション事業所整備促進事業 概要：在宅療養者が訪問リハビリテーションサービスを受けられる環境整備のため、訪問リハビリテーション事業所開設等に要する経費に助成 実績：3事業所整備</p> <p>○回復期リハビリテーション病棟整備促進事業(H24～H27) 概要：回復期リハビリテーション病棟を整備する際に必要となる機能訓練室等の整備に要する経費に助成 実績：H27 5事業所整備</p> <p>○先端的リハビリ推進事業 概要：府立医大に「ロボットリハビリセンター」を設置し、ロボットスーツや歩行練習ロボットの臨床研究を進めるとともに、企業連携等により機器開発を支援する等、先進的リハビリの情報を発信。</p>	<p>リハビリテーション支援センター</p>
<p>●リハビリテーション人材の確保・育成</p> <p>概要：理学療法士等養成施設の在学者で、卒業後、府内で就職する意志を有する者への修学資金の貸与、リハビリテーション就業フェア、リハビリテーション従事者の資質向上のための研修会の開催、医療機関等での受入研修の実施、特別養護老人ホーム等への巡回相談指導等、リハビリ医等養成事業を実施</p> <p>実績：理学療法士等修学資金貸与人数 54人 リハビリテーション就業フェア参加者数 96人 研修会受講者数 延べ1,291人 医療機関等での受入 47人 巡回相談指導等回数 37回 座学研修会参加者数 359人</p>	<p>リハビリテーション支援センター</p>
<p>●重度心身障害児(者)医療給付事業助成(S50～)</p> <p>概要：重度心身障害児(者)の医療に係る経済的な負担を軽減し、障害者の自立と社会参加を支援するとともに、障害者の健康の保持・増進を図るため、市町村が実施する重度心身障害児(者)医療費助成事業に対して助成(府1/2、市町村1/2)</p> <p>実績：H28 2,036,300千円、H29 2,030,359千円、H30 2,036,407千円、R1 2,027,074千円</p>	<p>医療保険政策課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●重度心身障害老人健康管理事業助成(S58～) 概要: 重度心身障害のある高齢者(後期高齢者医療制度の被保険者に限る)の医療に係る経済的な負担を軽減し、障害者の自立と社会参加を支援するとともに、障害者の健康の保持・増進を図るため、市町村が実施する重度心身 障害老人健康管理事業に対して助成(府1/2、市町村1/2) 実績: H28 1,169,041千円、H29 1,130,105千円、H30 1,137,662千円 R1 1,121,961千円</p>	<p>医療保険政策課</p>
<p>●障害者等歯科健診・指導事業 概要: 障害者施設入所者等を対象にう歯や歯周病を予防するため、歯科医師・歯科衛生士による歯科健診・保健指導等を実施 実績: H27 4,500千円 38施設、H28 4,500千円 38施設、 H29 4,500千円 38施設、H30 4,500千円 38施設、 R1 4,500千円 38施設</p>	<p>健康対策課</p>
<p>●府北部地域障害者歯科診療所整備・運営事業 概要: 脳性麻痺や自閉症等で通常の歯科診療が困難な障害者に対する歯科診療所を北部地域に整備し、市町、府歯科医師会と協同で運営。</p>	<p>障害者支援課 医療課</p>
<p>●認知症疾患医療センター設置事業(H23～) 概要: 認知症の早期発見や専門的な診断、適切な入・退院対応など、医療・介護・福祉の連携による支援体制の強化を図るため、認知症疾患医療センターを設置 実績: 8箇所(京都府立医科大学附属病院、独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター、京都府立洛南病院、宇治おうばく病院、西山病院、京都府立医科大学附属北部医療センター、京都山城総合医療センター、京都中部総合医療センター)</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>●概要: 臓器移植に関する理解促進を図るため、府民への臓器移植医療に関する正しい情報の発信と制度の普及啓発を実施</p>	<p>健康対策課</p>
<p>②精神保健・医療の提供等</p>	
<p>●精神医療審査会の開催 概要: 精神科病院における入院患者に対し人権に配慮した適正な処遇を確保</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●精神保健対策費(医療費) 概要: 入院措置に係る医療費の一部負担 実績: 新規措置患者数 H26 31人、H27 21人、H28 25人、H29 26人、 H30 25人、R1 14人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●自立支援医療(精神通院) 概要: 通院医療費の助成等を通じて、精神科医療を受診する機会を保障 実績: 支給認定者数(年度末現在) H26 14,386人、H27 14,739人、H28 15,259人、H29 15,827人、 H30 16,437人、R1 16,830人</p>	<p>障害者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●精神科デイ・ケア 概要: ①回復途上にある精神障害者に発達障害専門プログラムや生活技能訓練等の治療訓練を実施 ②京都デイ・ケア連絡会(府内の精神科デイ・ケア32施設が加入)の事務局、運営委員として、会員施設の情報交換、スキルアップを支援 実績: ①発達障害専門プログラム参加事例が通院する11機関を含む、35機関に治療訓練を提供 ②会員施設の見学会3回(そのうち1回は講演会も同時開催)</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●自殺対策の推進 概要: 京都府精神保健福祉総合センターに「京都府自殺ストップセンター」を設置し、電話及び面接相談を実施。 相談内容に応じて弁護士や司法書士等の専門家と協働して対応 実績: 相談件数 H29 電話1,510件 面接20件 H30 電話1,312件 面接15件 R1 電話1,236件 面接9件</p>	<p>地域福祉推進課</p>
<p>●公立精神科病院の専門医療の充実</p>	<p>医療課</p>
<p>③人材の育成・確保</p>	
<p>●リハビリテーション人材の確保・育成 <再掲 4-①参照></p>	<p>リハビリテーション支援センター</p>
<p>④難病に関する施策の推進</p>	
<p>●概要: 難病医療拠点病院と協力病院を中心とした難病医療体制の整備や関係者への研修等の実施。また、全保健所において、保健所単位での事例を通じた支援グループ会議や在宅ケアシステム会議などのネットワーク関連事業を開催。 実績: 拠点・協力病院等関係職員研修 H27 74人、H28 74人、H29 68人、H30 72人、R1 100人 支援グループチーム・在宅ケアシステム会議 H27 169事例、H28 174事例、H29 173事例、H30 179事例 R1 149事例</p>	<p>健康対策課</p>
<p>●概要: 治療が極めて困難であり医療費も高額である特定疾患について、疾患に関する医療の確立・普及を図るとともに、患者の医療費の負担軽減を図るため、保険診療の患者負担分の医療費の公費負担を実施</p>	<p>健康対策課</p>
<p>5 生活環境の整備</p>	
<p>①福祉のまちづくりの総合的な推進</p>	
<p>●概要: すべての人が安心・安全で利用しやすい建物、製品、サービスなど、ユニバーサルデザインの考え方を基本としたまちづくりやものづくりを促進するため、みんなで作る「あったか京都」指針の普及啓発を実施</p>	<p>地域福祉推進課</p>
<p>●パーキングパーミット制度の導入 平成23年9月「京都おもいやり駐車場利用証制度」を開始 実績: 利用証交付数 ~R1 20,153枚 協力施設数 ~R1 1,532施設</p>	<p>地域福祉推進課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●人にやさしいまちづくりホームページ開設(H13～) 概要:府内施設のバリアフリー情報発信 実績:掲載施設 2,144施設(R2.3)</p>	<p>地域福祉推進課</p>
<p>②住宅の確保</p>	
<p>●「高齢者が居住する住宅の設計に関する指針」の普及・啓発 概要:指針の全文を京都府HPに掲載して啓発(平成14年5月以降の設計に係る府営住宅については、本指針の基本レベルに達している。)</p>	<p>住宅課</p>
<p>●府営住宅のバリアフリー仕様への建替実績(着工年度ベース) H27 0戸、H28 50戸、H29 30戸、H30 0戸、R1 60戸 ●既存住宅EV設置実績 H27 50戸、H28 80戸、H29 35戸、H30 0戸、R1 215戸 ●既存住宅高齢改善実績及び募集住戸へのバリアフリー化改善実績 (バリアフリー化改善はH21から実施) H27 532戸、H28 455戸、H29 483戸、H30 421戸、R1 349戸</p>	<p>住宅課</p>
<p>●住宅改良資金融資制度(21世紀住宅リフォーム資金:バリアフリー型) 概要:バリアフリー化工事等を行う者に対する低利融資を実施 実績:H27 0件、H28 0件、H29 0件、H30 0件、R1 0件</p>	<p>住宅課</p>
<p>●住宅相談業務委託事業 概要:京都府住宅相談所において、専門家(建築士)との面談による「建築相談」を月に2回実施し、バリアフリー仕様等、住宅に関する技術的な相談に応じている。 実績:住宅の増改築工事に係る技術的相談等 H27 6件、H28 17件、H29 7件、H30 25件、R1 25件</p>	<p>住宅課</p>
<p>●住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業登録制度 概要:障害者世帯その他の住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅を登録 登録実績(障害者世帯) H29 0戸、H30 3戸、R1 3戸</p>	<p>住宅課</p>
<p>●居住サポート事業の支援 概要:障害者の入居契約手続きの支援等を行う居住サポート事業を行う市町村に対する支援を実施</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●府営住宅の優先入居 概要:入居者若しくは、同居し又は同居しようとする親族が身体障害者手帳4級以上等に該当する者がいる世帯(ただし、単身入居有資格者を除く)を対象に南部地域は年3回(25年度は4回)、北部地域は年2回、一般募集とは別に、優先枠を設けて募集(福祉枠として南部地域90戸程度、北部地域は30戸程度の範囲で対応) ※平成20年2月募集から精神障害者を優先入居対象に追加 実績:南部地域(南丹市以南) H27 募集戸数: 9戸、応募者: 24人、応募倍率:2.7倍 H28 募集戸数: 9戸、応募者: 39人、応募倍率:4.3倍 H29 募集戸数: 9戸、応募者: 55人、応募倍率:6.1倍 H30 募集戸数: 10戸、応募者: 29人、応募倍率:2.9倍 R1 募集戸数: 12戸、応募者: 30人、応募倍率:2.5倍</p>	<p>住宅課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
③公共交通機関のバリアフリー化の推進	
<p>●鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業(H7～)</p> <p>概要: 駅利用者数が1日当たり3千人以上の駅を対象に国・市町村と協調して鉄道事業者に補助(補助率: 対象事業費の1/6)</p> <p>実績: ~H22 18社43駅、H23 0駅、H24 0駅、H25 1社 1駅、H26 1社 1駅、H27 1社 2駅、H28 3社 5駅、H29 0駅、H30 1社1駅、R1 1社 1駅</p>	交通政策課
<p>●道路整備事業</p> <p>◇国庫補助事業</p> <p>概要: 府管理道路において、歩道設置・交差点改良等の安全施設を整備</p> <p>実績: H18～H26 87箇所完成 H27 8箇所完成 H28 2箇所完成 H29 2箇所完成 H30 4箇所完成 R1 1箇所完成</p> <p>◇単独事業</p> <p>○地域連携推進事業(H18～21)</p> <p>概要: 通学路等における安心・安全の確保や歩道のバリアフリー化を進めるとともに地域の絆や連携を支える道路等社会基盤の整備を行う</p> <p>実績: H18～H21 27箇所完成</p> <p>○道路緊急安全確保小規模改良事業(H20～)</p> <p>概要: 府民生活や地域の安心・安全をより一層確保するため、緊急的に交通安全対策や耐震対策などに資するきめ細やかな小規模道路改良等を実施することにより安心・安全で快適なみちづくりを推進する</p> <p>実績: H20～H26 92箇所完成 H27 4箇所完成 H28 2箇所完成 H29 2箇所完成 H30 4箇所完成 R1 1箇所完成</p>	道路管理課
<p>●信号機の設置</p> <p>○視覚障害者用付加装置付信号機(整備総数 554基)</p> <p>実績: H18～H26 新設122基、更新88基 H27 新設4基、更新4基 H28 新設1基、更新8基 H29 新設4基、更新8基 H30 新設3基、更新12基 R1 新設5基、更新10基</p> <p>○高齢者感応式信号機(整備総数 109基)</p> <p>実績: H18～H26 新設36基 H27 新設3基 H28 整備なし H29 整備なし H30 新設2基 R1 整備なし</p> <p>○音響式歩行者誘導付加装置付信号機(整備総数 2基)</p> <p>実績: H29以前整備なし H30 新設1基 R1 整備なし</p> <p>○歩行者感応式信号機(整備総数 25基)</p> <p>実績: H18～H26 16基 H27 新設2基 H28 整備なし H29 整備なし H30 整備なし R1 整備なし</p>	警察本部

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●違法駐車車両の排除(確認標章の取付) 実績:H27 48,031件(うちレッカー移動 2件) H28 43,568件(うちレッカー移動 2件) H29 39,140件(うちレッカー移動 2件) H30 40,702件(うちレッカー移動 2件) R1 37,649件(うちレッカー移動 1件)</p>	警察本部
<p>●道路管理者等と連携した放置自転車等の排除 実績:H27 自転車 44,294台、原付車 81台、計 44,375台 H28 自転車 41,585台、原付車 47台、計 41,632台 H29 自転車 36,619台、原付車 28台、計 36,647台 H30 自転車 43,620台、原付車 42台、計 43,662台 R1 自転車 41,111台 原付車 39台、計 41,150台</p>	警察本部
<p>●身体障害者等除外指定標章の交付 件数:H27 10,987件(1ヶ月平均 915件) H28 11,463件(1ヶ月平均 955件) H29 9,955件(1ヶ月平均 830件) H30 10,302件(1ヶ月平均 858件) R1 10,738件(1ヶ月平均 895件) ※平成21年4月1日 障害者の適用除外措置等の見直しを実施 ※平成22年4月1日 肝臓機能障害者を追加して適用範囲を拡大 ※平成22年4月19日 高齢運転者等専用駐車区間を新設</p>	警察本部
④誰もが利用する施設等のバリアフリー化の推進	
<p>●人にやさしいまちづくりホームページ開設(H13～) <再掲 5-①参照></p>	地域福祉推進課
<p>●パーキングパーミット制度の導入 <再掲 5-①></p>	地域福祉推進課
<p>●府立公園の整備促進 概要:府立公園では、鴨川公園、木津川運動公園等について、福祉のまちづくり条例に基づいた施設整備を行っている。</p>	都市計画課
<p>●市町村公園の整備促進 概要:7市において9の都市公園整備事業(交付金事業)を行っている。</p>	都市計画課
<p>●福祉のまちづくり条例に係る特定まちづくり施設の設置工事の協議・届出 概要:建築物等の特定まちづくり施設の設置工事を行うときの協議・届出 実績:H18～H22 1,489件、H23 279件、H24 326件、H25 351件、 H26 282件、H27 277件、H28 286件、H29 307件、H30 254件、 R1 248件</p>	建築指導課
<p>●交番等における身体障害者対応トイレの設置 概要:交番等のバリアフリーを推進するため、身体障害者対応のトイレを整備 実績:H17～H27 58箇所 H28 4箇所 H29 3箇所 H30 3箇所 R1 3箇所</p>	警察本部

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●バリアフリー設備を設置した警察署 概要: 警察署のバリアフリーを推進するため、身体障害者対応設備やベビーベッドを設置した多目的トイレ及びEVを整備 実績: H21～H27 7箇所 H28 1箇所 H29 整備なし H30 整備なし R1 整備なし</p>	警察本部
⑤わかりやすい情報の提供	
<p>●府民だよりの情報バリアフリー化の支援 概要: 府民だよりの情報バリアフリー化を図るため、文字拡大版、点字版、音声版を発行</p>	広報課
<p>●ホームページのアクセシビリティ化 概要: 障害者の方のWEBアクセシビリティに配慮したホームページを構築</p>	広報課
<p>●知事会見の手話対応 概要: 緊急を要する知事会見において、即時に広く府民へ周知を図るため、生配信の実施とともに手話通訳を導入。動画はホームページにも掲載。</p>	広報課
<p>●府警ホームページへのJIS基準の適用 概要: 府警ホームページに、視覚障害者用音声化ソフトに対応可能なシステムを構築</p>	警察本部
<p>●府警ホームページ・京都府警察本部(公式)Facebookページを活用した情報提供 概要: 府警ホームページ・京都府警察本部(公式)Facebookページに、子ども安全情報(子どもに対する声かけ事案)や街頭犯罪・侵入 犯罪、特殊詐欺等の被害防止の啓発記事を掲載する等、各種地域安全情報を積極的に提供</p>	警察本部
<p>●障害者ITサポートセンター事業 概要: 障害者の情報・コミュニケーション支援のため、初心者向けIT講座、視覚・聴覚等障害別IT講座やIT相談などを実施</p>	障害者支援課
<p>●手話通訳者・要約筆記者等派遣事業 概要: 聴覚障害者のコミュニケーションを確保するため、手話通訳者・要約筆記者等派遣を実施 実績: 手話通訳者 H28 586時間、H29 586時間、H30 489時間 R1 406時間 要約筆記者等 H28 1,269時間、H29 578時間、H30 810時間 R1 589時間</p>	障害者支援課
<p>●「警察総合相談室相談専用ファックス」活用のための広報 概要: ホームページ等広報媒体を利用した広報活動を実施</p>	警察本部

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>6 雇用・就労の促進</p> <p>①障害者雇用の促進</p> <p>●京都障害者雇用企業サポートセンター(H27～) 概要: 京都府内の企業等の障害者雇用を推進するため、障害のある方に適した仕事の創出、雇用管理、各種助成制度等に関する提案やアドバイスなど総合的に行い、障害者の更なる雇用拡大及び職場定着を促進</p> <p>元年度実績: 延べ訪問企業数 1,175社 法定雇用率未達成企業訪問数 506社 実践アドバイザー活動数 81回</p> <p>●障害者雇用率の向上 障害者雇用率2.3%の達成に向けた様々な取組を推進 実績: R元 障害者雇用率 2.23% ・企業等で働いている障害者と福祉事業所で働く障害者との交流の場を各圏域で開催。 実績 H27 交流の場開催 12回、H28 交流の場開催 11回 H29 交流の場開催 9回、H30 交流の場開催 13回</p> <p>●障害者就職面接会の開催 概要: 求職者により多くの企業情報を提供するとともに、企業に障害者を紹介する場を提供 【元年度実施状況】 ・開催日: 9/20、場所: 精華町 企業数: 8企業、求職者数: 13人、就職者: 2人 ・開催日: 9/24、場所: 京都市 企業数: 59企業、求職者数: 280人、就職者: 34人 (選考中1人) ・開催日: 10/28、場所: 福知山市 企業数: 12企業、求職者数: 49人、就職者: 8人 ・開催日: 11/14、場所: 京都市 企業数: 14企業、求職者数: 11人、就職者: 1人 ・開催日: 2/18、場所: 京都市 企業数: 59企業、求職者数: 281人、就職者: 38人 (選考中15人)</p> <p>●概要: 府内企業に対し「障害者雇用の好事例」や「雇用拡大のモデル的な取組」等の普及啓発を実施 実績: H24 「知的障害者と共に働くあるあるガイドブック」作成 H25 「精神障害者と共に働くための知っとこガイドブック」作成 H27 「発達障害者と共に働くなるほどガイドブック」作成 「精神障害者と共に働くここからガイドブック」作成 「共に理解し共に働くこれからの障害者雇用」パンフレット作成</p> <p>●障害者雇用促進セミナー 概要: 雇用への取組が遅れている業種や、雇用の見込める業種等の事業所を対象に、障害者の能力の正しい理解と雇用の促進を図るセミナー等を開催 <元年度実施状況> ・雇用セミナー 実施回数: 32回、参加企業数: 304社 ・企業見学会 実施回数: 3回、参加企業数: 6社</p>	<p>人材確保推進室</p> <p>人材確保推進室 障害者支援課</p> <p>人材確保推進室</p> <p>人材確保推進室</p> <p>人材確保推進室</p> <p>人材確保推進室</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●京都府障害者雇用施設整備事業等事業費補助金 概要: 障害者の安定的な雇用の確保及び就労機会の拡大を図るため、障害者を雇用するために必要となる施設、設備等を整備する事業主に補助金を交付</p> <p>元年度実績: 特例子会社等設立 1件 8,528千円</p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>●「府庁ゆめこうば」推進事業 概要: 京都府が知的障害者及び平成25年度からは精神障害者を直接雇用(業務指導は社会福祉法人等に委託)するとともに、地域機関での清掃業務等を障害者を雇用する社会福祉法人等に委託</p> <p>実績: H28 就労障害者数: 3人 H29 就労障害者数: 2人 H30 就労障害者数: 1人 R1 就労障害者数: 3人</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●障害者雇用促進事業(京都障害者ワークフェアでの知事表彰) 概要: 障害者の積極的な雇用や採用後の雇用管理等、障害者の雇用や職業の安定に積極的に取り組んでいる事業所や優良勤労者を表彰することにより、障害者の雇用促進と職業の安定を図る。</p> <p>【表彰対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用率2.4%以上で、かつ過去3年間法定雇用率を達成している事業所(45.5人未満にあつては2人以上雇用している事業所で、かつ過去3年間障害者を雇用している事業所) ・永年にわたり障害者の雇用の促進と職業の安定に貢献した団体・個人 ・同一企業で5年以上勤務している者 ・年齢が満30歳未満の重度障害者で、同一企業で2年以上勤務している者 <p>【表彰方法】</p> <p>9月の「障害者雇用支援月間」の取組の一環として実施する「京都障害者ワークフェア」(主催: 京都労働局・ハローワーク、京都府、京都市、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部、高齢・障害者雇用支援協会)において表彰</p> <p>【元年度 知事表彰状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用優良事業所知事表彰 5事業所 ・功劳団体 2団体 ・優良勤労者知事表彰 11名 ・優良勤労者奨励賞 3名 	<p>人材確保推進室</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●京都府障害者雇用推進企業(京都はあとふる企業)認証制度 概要:障害者を積極的に雇用している企業を京都府障害者雇用推進企業(京都はあとふる企業)として認証し、社会的に評価される仕組みをつくとともに、当該企業が実践している障害のある方の働きやすい職場づくりなどの取組内容を普及し、障害者雇用の理解と推進を図る。</p> <p>【認証基準】 次の要件を満たしている事業所 ・府内に本社又は事業所があること ・障害者雇用率が3.0%以上であること (常用雇用労働者数45.5人未満の企業も同様) ・特例子会社ではないこと等</p> <p>【認証期間】 3年 【認証企業数】 122社</p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>●地域社会貢献企業への物品等の優先調達(H24～) 概要:障害者の雇用に積極的な企業など、地域社会に貢献する企業から物品等を優先調達する仕組みを導入</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>②総合的な就労支援</p>	
<p>●はあとふるジョブカフェの運営等(H20～) (1)キャリアカウンセラー等によるきめ細かなカウンセリングと就労支援・就職相談、就労SST、企業実習のコーディネート等 (2)雇用支援員による企業啓発、実習先開拓 (3)はあとふるジョブサポーター(43人登録R1末)や定着支援員による就職前後のきめ細かな支援(企業実習中の付き添い支援、定着までの継続支援)</p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>●圏域障害者自立支援協議会の就労支援部会による支援の実施 概要:各圏域障害者自立支援協議会に就労支援部会を設置し、障害者等の就労を支援 構成:市町村、福祉サービス事業者、養護学校、商工会、ハローワークなど 実績:H24年度末の状況 全圏域に設置</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●公共職業安定所や事業主等の関係機関等によるネットワークの構築 概要:公共職業安定所や事業主等の関係機関・団体によるネットワークを地域レベルで形成し、障害のある人の生活・就労相談から、職業訓練、就職、職場定着までの、きめ細かで一体的な支援の実施</p>	<p>人材確保推進室</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●障害者就業・生活支援センター(生活支援等)事業 概要:障害者の職業生活の自立を図るために、就業面の支援と生活面の支援を身近な地域で一体的に行う。 (京都・乙訓圏域(京都市サブ圏域)に2カ所、その他の障害保健福祉圏域に各1カ所、計8カ所を設置)</p> <p>【事業委託先】</p> <p>(1) 社会福祉法人京都総合福祉協会(平成15年4月1日指定) (2) 社会福祉法人南山城学園(平成15年4月1日指定) (3) 社会福祉法人みずなぎ学園(平成18年4月1日指定) (4) 社会福祉法人京都ライフサポート協会(平成20年4月1日指定) (5) 社会福祉法人松花苑(平成20年4月1日指定) (6) 一般財団法人長岡記念財団 (平成21年4月1日指定・平成27年5月1日指定) ※2カ所のセンターを委託 (7) 社会福祉法人よさのうみ福祉会(平成22年4月1日指定)</p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>③障害特性に応じた就労支援及び就業力の強化</p>	
<p>●はあとふるジョブカフェの運営等(H20～) <再掲 6-②参照></p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>●雇用支援員(はあとふるジョブカフェ)による職場実習企業の開拓 概要:障害のある求職者が円滑に一般就労につながるよう事前に企業実習を通して適性や方向性を把握 元年度実績:職場実習研修 253件</p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>●概要:障害のある人がより身近な地域で職業訓練を受講し、就職できるよう、社会福祉法人等の多様な委託訓練先において、職場実習等を取り入れた委託訓練や職場適応訓練等を実施 実績:障害者委託訓練 R1 37コース 81人 職場適応訓練 R1 0人</p>	<p>人材確保推進室 人材開発推進課</p>
<p>●概要:就職した障害者の資質向上を図り、企業内でのキャリアアップを支援し、職場定着を促進するためにビジネスマナーやコミュニケーション、日常の自己管理などテーマに在職者セミナーを実施 元年度実績:1回 4人</p>	<p>人材確保推進室</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●身体に障害がある人を対象とした職業訓練 概要○京都高等技術専門校において、平成16～18年度に国モデル事業（一般の高等技術専門校を活用した障害者訓練）を実施し、平成19年度から正規訓練科として実施（H22.4に京都障害者高等技術専門校へ移管） ○通校制の京都障害者高等技術専門校を開校（H22.4）し、身体障害者訓練を実施 実績：修了生数（OAビジネス科） （H29よりオフィスビジネス科へ再編） H27：20名、H28：17名</p> <p>●知的障害のある人を対象とした職業訓練 概要○城陽障害者高等技術専門校において、全寮制の知的障害者対象の職業訓練を実施 ○福知山高等技術専門校において、平成16～18年度に国モデル事業（一般の高等技術専門校を活用した障害者訓練）を実施し、その成果を踏まえ、平成19年度から施設内訓練の正規訓練科として実施 ○通校制の京都障害者高等技術専門校を開校（H22.4）し、知的障害者訓練を実施 実績：修了生数 京都障害者校 総合実務科 H27：11名、H28：9名、H29：12名、H30：12名、R1：13名 城陽障害者校 紙器製造科（H29より生産実務科へ再編） H27：7名、H28：2名 福知山校 総合実務科 H27：6名、H28：8名、H29：8名、H30：5名、R1：8名</p>	<p>人材開発推進課</p>
<p>●発達障害のある人を対象とした職業訓練 概要：京都高等技術専門校において、平成20～22年度に実施した国モデル事業（一般校を活用した障害者訓練）の成果を踏まえ、平成23年度から正規訓練科として実施（H29.4に京都障害者高等技術専門校へ移管） 実績：修了生数（キャリア・プログラム科） H27：5名、H28：4名、H29：13名、H30：13名、R1：13名</p>	<p>人材開発推進課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●障害者技能競技大会(アビリンピック京都大会)の開催等(H15～) 概要:障害のある方が、技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、職業能力を高めるとともに、多くの府民や事業主等が障害のある方々の技能について理解と認識を高め、障害者の雇用促進と職業の安定を図るためにアビリンピック京都大会を開催 元年度実績: 13競技13種目 112名</p>	<p>人材確保推進室</p>
<p>④福祉的就労の充実</p>	
<p>●京都ほっとはあとセンターへの支援 概要:府内の就労継続支援事業所等の組織化を図り、ほっとはあと製品の普及、販売促進等に関する事業を推進 実績:R1末 加入施設198 ○アンテナショップ:三条店、ぶらり嵐山 ○喫茶店の運営:西京同窓会館、府庁福利厚生センター、ハートピア京都、ひとまち交流館</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●ハート(まごころ)ショップ 概要:府庁舎内等において常設販売コーナーを設置し、府内の就労継続支援事業所等のほっとはあと製品を販売 実績:H29開設状況 12か所 (府庁、府総合庁舎、市町村庁舎、民間施設)</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●「京のはあと製品」応援事業 概要:就労継続支援事業所等で働く障害者の工賃引き上げを図るため、事業所へのもの作り専門家派遣、販売戦略づくり等を実施 ●福祉就労製品魅力アップ事業 概要:アドバイザーの派遣等を行い、商品開発を実施</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●新「ゆめこうば」推進事業(H24～R1) 概要:障害者就労施設での受注機会を拡大するため、コーディネーターによる企業訪問や共同受注システムを構築することにより、企業等のニーズに応じた競争力のあるサービスや製品を事業所が連携して提供することで、マッチングの機会を増大し、民間企業等からの受注を増やす仕組みづくりや仕事づくりを推進</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>7 スポーツ、文化・芸術、レクリエーションの活動の振興</p>	
<p>①スポーツ、レクリエーション活動の推進</p>	
<p>●全国車いす駅伝競走大会 概要:全国車いす駅伝競走大会の開催に要する経費を助成 実績:H27 全国から23チームが参加(うち京都2チーム) H28 全国から18チームが参加(うち京都2チーム) H29 全国から23チームが参加 (うち京都2チーム、健常者1チーム初参加) H30 全国から25チームが参加 (うち京都2チーム、健常者1チーム参加) R1 新型コロナウイルス拡大防止のための中止</p>	<p>障害者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●ナショナルトレーニングセンターの誘致・拠点整備 サン・アビリティーズ城陽における障害者スポーツの拠点機能の強化を行い、パラリンピックナショナルトレーニングセンターを誘致。 実績:「サン・アビリティーズ城陽」がパワーリフティング競技のパラリンピック競技ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の指定を受ける(28.7.22)</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●全国障害者スポーツ大会への選手派遣 概要:全国障害者スポーツ大会に京都府選手団を派遣 実績:H27 31人の選手を派遣(和歌山県(10/24~26)) H28 40人の選手を派遣(岩手県(10/22~24)) H29 18人の選手を派遣(愛媛県(10/28~30)) H30 22人の選手を派遣(福井県(10/13~15)) R1 20人の選手を派遣(茨城県(10/12~14))であったが、台風により中止</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●全京都障害者総合障害者スポーツ大会 概要:全京都障害者スポーツ大会の運営に要する経費を助成 実績:R1 卓球/バレー、卓球、水泳、陸上、アーチェリー、フライングディスクを開催(参加者総数1,653人)</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●障害者ふれあい広場「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」 概要:障害者がスポーツやレクリエーションを行い交流できる大会として、障害者ふれあい広場を開催 実績:R1年度 5/26丹波自然運動公園</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>●スポーツ振興事業 (参加料:無料) 【概要】 ・島津アリーナ京都(府立体育館) 事業名:障害者スポーツのつどい 対象:障害者と介助者 実施期間:毎月第2日曜日 13:30~16:00 ・府立伏見港公園 事業名:障がい者水泳のつどい 対象:障害者と介護者 実施期間:7月、8月を除く毎月第3日曜日(6月第1日曜日) 13:30~15:30 ※3月は中止 ・府立丹波自然運動公園 事業名:障がい者スポーツのつどい 対象:障害者と介護者及びその家族 実施期間:8月を除く毎月第2火曜日 13:30~15:30 ※3月は中止 事業名:障がい者スポーツ交流大会 対象:5市1町の障害者と介護者及びその家族 実施期間:年1回(6月) 13:00~16:00 ・府立山城総合運動公園 事業名:パラリンピックに挑戦! 対象:小・中・高校生の障害者 実施期間:年1回(11月) 時間未定</p>	<p>スポーツ振興課 都市計画課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●スポーツ振興事業 (参加料:無料)</p> <p>【実績】</p> <p>施設名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島津アリーナ京都(年度、開催回数、参加延べ人数) H27 12回 2,021人、H28 12回 2,017人、H29 12回 2,184人、 H30 12回 2,525人、R1 11回 1,112人 ・府立伏見港公園(年度、開催回数、参加延べ人数) H27 10回 211人、H28 8回 204人、H29 9回 172人、 H30 10回 203人、R1 9回 206人 ・府立丹波自然運動公園(年度、開催回数、参加延べ人数) (障害者スポーツのつどい) H27 10回 101人、H28 10回 101人、H29 10回 145人、 H30 11回 176人、R1 10回 183人 ・府立丹波自然運動公園(年度、開催回数、参加延べ人数) (障害者スポーツ交流大会) H27 1回 96人、H28 1回 100人、H29 1回 91人、 H30 1回 104人、R1 1回 95人 ・府立山城総合運動公園(年度、開催回数、参加延べ人数) H29 1回 300人、H30 1回 500人、R1 1回 500人 	<p>スポーツ振興課 都市計画課</p>
<p>②文化・芸術活動の振興</p>	
<p>●きょうと障害者文化芸術推進機構等</p> <p>共生社会の実現に向けた障害者の社会参加を支援するため、芸術系 大学、芸術家、福祉事業者、企業、美術館、行政その他の関係機関が連携し、オール京都体制で障害者の文化芸術活動を強力に推進する組織「きょうと障害者文化芸術推進機構」を中核として、障害のある方の文化芸術活動を通じた社会参加を一層推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きょうと障害者文化芸術推進機構」を創設。 実績:H27 機構創設 ・事務局兼ギャラリーである「art space co-jin」で展覧会やワークショップを開催。 実績:企画数 H28:10、H29:6、H30:6、R1:5 ・多様な表現活動や芸術性豊かな作品の展示等を行う「共生の芸術祭」を開催。 実績:開催数 H28:1回 3会場、H29:1回 3会場、H30:1回 3会場 R1:1回 2会場 ・障害のある方の芸術展を各地域で展開する「地域アート展」を開催。 実績:開催箇所数 H28:10箇所、H29:12箇所、H30:13箇所 ・福祉事業所等の職員に対し、創作活動の基本的考え方や指導法等に関する研修会を開催。(H28～) ・障害者の文化芸術活動をサポートするアートサポーター制度を創設しサポーターを育成(H28～) ・障害者の芸術作品のデジタルアーカイブ化を実施(H29～) 実績:公開作品数 R1:13作家、2,291作品 	<p>障害者支援課</p>
<p>●アールブリュット都ギャラリー</p> <p>概要:障害のある方によるアートの素晴らしさを周知するとともに、アートを通じて障害のある人となない人の相互理解を深めるため、府内数箇所 でアート作品を展示及びアート製品を販売するギャラリーを設置 実績:H25～ ぶらり嵐山、みずのき美術館等で展示</p>	<p>障害者支援課</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●京都とっておきの芸術祭 概要:障害者の芸術文化活動の可能性を切りひらき、障害者の社会参加の促進を図るとともに障害に対する理解と認識を深めるため、障害者作品展・ものづくりワークショップ等を開催 実績: H27 12/3～12/6 日図デザイン博物館 作品展出品550点 H28 12/1～12/4 日図デザイン博物館 作品展出品598点 H29 11/30～12/3 日図デザイン博物館 作品展出品629点 H30 11/29～12/2 日図デザイン博物館 作品展出品708点 R1 12/5～12/7 日図デザイン博物館 作品展出品747点</p>	<p>障害者支援課</p>
<p>8 暮らしの安心・安全</p>	
<p>①防災対策の推進</p>	
<p>●テレビ・ラジオ等を活用した情報提供 概要:京都府広報テレビ番組「京都ライブ!」、ラジオ「きょうとほっと情報」、京都府広報紙「府民だより」、府警広報紙「府警あんぜん広場」やホームページ等の各種広報媒体を活用し、犯罪や交通事故に遭わないための情報を発信</p>	<p>広報課 警察本部</p>
<p>●京都府防災・防犯情報メールの配信事業(H17～) 概要:登録者の携帯電話・スマートフォン・パソコン等に防災情報等を配信 (気象情報、防災情報、要配慮者・支援者情報、防犯・犯罪情報、市町村防災・安心情報) 実績:メール登録者数 R2.3.31現在 77,217件</p>	<p>危機管理総務課</p>
<p>②防犯対策の推進</p>	
<p>●「ファックス110番」の受理 H27 249件 有効153件 (各種情報129、要望・苦情・相談3、その他21) 無効 96件(いたずら・間違い) H28 231件 有効 72件(各種情報53、その他19) 無効159件(いたずら・間違い) H29 341件 有効 32件(各種情報11、その他21) 無効309件(いたずら、間違い) H30 222件 有効 93件(各種情報18、その他75) 無効129件(いたずら、間違い) R1 240件 有効 75件(各種情報13、その他62) 無効 165件(いたずら、間違い)</p>	<p>警察本部</p>

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●「メール110番」の受理</p> <p>H27 55件 有効 50件 (各種情報21、要望・苦情・相談16、その他13) 無効 5件(いたずら・間違い)</p> <p>H28 73件 有効 73件 (事件・事故8、各種情報40、その他25) 無効 0件</p> <p>H29 213件 有効 120件 (事件・事故9、各種情報66、その他45) 無効 93件(いたずら、間違い)</p> <p>H30 85件 有効 82件 (事件・事故1、各種情報44、その他37) 無効 3件(いたずら、間違い)</p> <p>R1 146件 有効 126件 (事件・事故5、各種情報67、その他54) 無効 20件(いたずら、間違い)</p>	警察本部
<p>●「110番アプリシステム」の受理</p> <p>R1 1件 有効 1件 (事件・事故0、各種情報0、その他1) 無効 1件 (いたずら、間違い)</p>	警察本部
<p>●地域安全情報等の配信(H17～)</p> <p>概要:登録者の携帯電話、スマートフォン、パソコン等に子ども安全情報や ひったくり等の防犯・犯罪情報を配信</p> <p>実績:メール登録者数 R1. 12. 31現在57,887件 配信件数 R1 1,304件</p>	警察本部 安心・安全まちづくり 推進課
<p>●「京都府警察広報センター」における手話映像等の運用</p> <p>概要:「京都府警察広報センター」における警察活動の紹介に「手話映像」 を使用しているほか、システム機器に「手話アニメーション作成ソフト」 を導入。また、同システム機器を車椅子から直接利用できるよう にバリアフリー化(平成24年2月完成)。</p>	警察本部
<p>●テレビ・ラジオ等を活用した情報提供 <再掲 8-①参照></p>	広報課 警察本部
<p>●府警音楽隊による警察広報活動の実施</p> <p>概要:府警音楽隊を「全国車いす駅伝大会」の開・閉会式に派遣 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大会中止</p>	警察本部
<p>●障害者を対象とした交通安全教室の開催</p> <p>実績:H27 19回(参加人数 452人) H28 21回(参加人数 735人) H29 21回(参加人数 592人) H30 31回(参加人数 804人) R1 19回(参加人数 539人)</p>	警察本部

令和元年度「京都府障害者基本計画」の各分野別の主な施策一覧

分野別施策(事業)	担当課室等
<p>●聴覚障害者等を対象とした防犯教室の開催 概要:聴覚障害者等を対象に、振り込め詐欺や悪質商法の被害防止等についての防犯教室を開催 実績:H27 15回 H28 7回 H29 18回 H30 8回 R1 10回</p>	<p>警察本部</p>
<p>③消費者トラブルの防止及び被害からの救済</p>	
<p>●地域における見守り活動等の拡大 ・民生児童委員協議会等と連携して見守り活動を実施 ・福祉関係団体等の見守り活動の担い手となる者を対象に、専門研修を実施 研修実施回数・参加者数 H30年度 5回・235人、R1年度 4回・213人</p>	<p>消費生活安全センター</p>
<p>●消費生活相談員による学校、大学、地域等への出前講座 消費生活相談員を講師として派遣し、消費者トラブルの対処方法や消費者の役割などを内容とする出前講座を実施 講座実施回数・参加者数 H30年度 321回・17,087人、R1年度 258回・13,165人</p>	<p>消費生活安全センター</p>
<p>●消費者問題解決力の強化 府や市町村の職員・相談員と弁護士等で構成する「消費者あんしんチーム」で困難事案に対応 ・消費生活相談件数(消費生活安全センター及び各広域振興局) R1年度 4,217件</p>	<p>消費生活安全センター</p>